大学発新産業創出プログラム

大学発ベンチャー「**起業前**」支援

START
プロジェクト推進型
起業実証支援

（旧　プロジェクト支援型）

2022年度 公募説明会

2022年3月

産学連携展開部 START事業グループ

科学技術振興機構

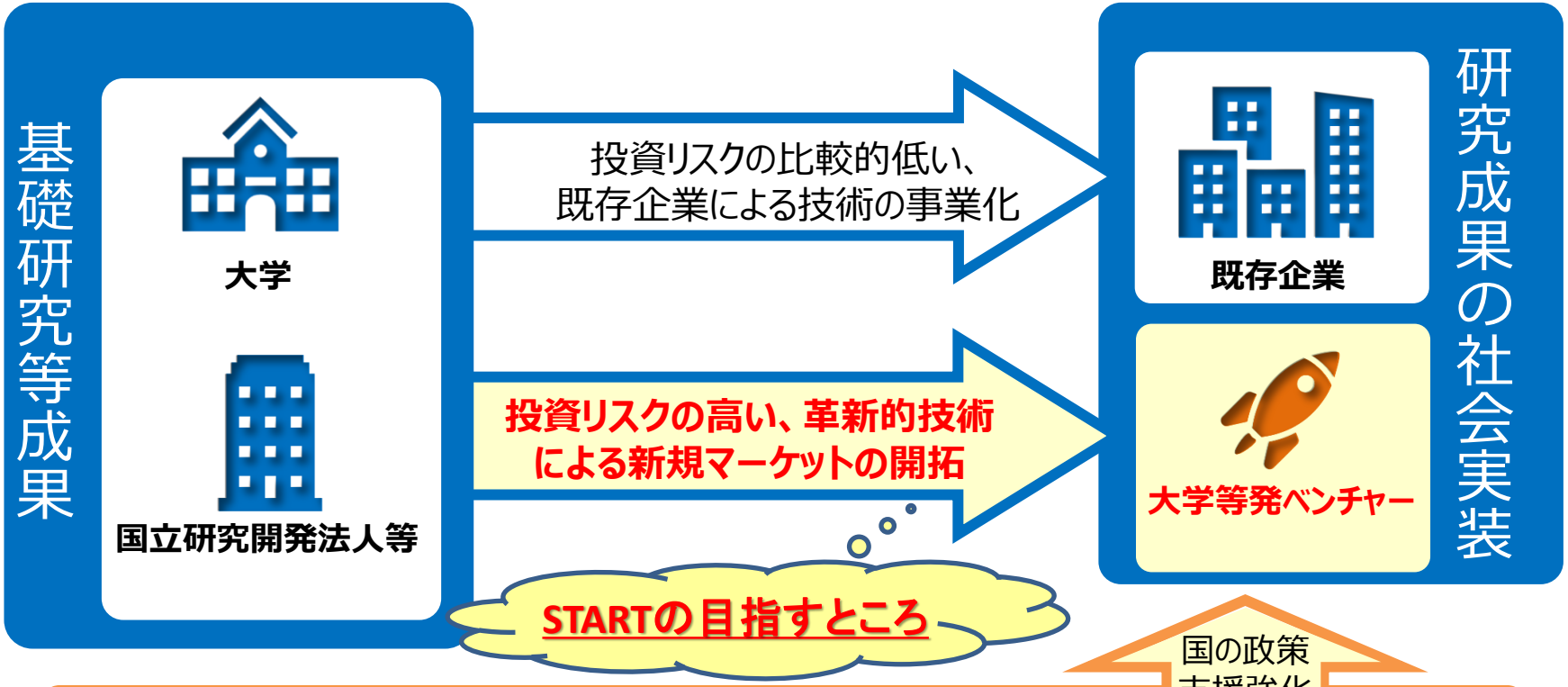
プログラム名称変更

2022年4月1日より、START事業のプログラム名称が変更されます。

2021年度	2022年度以降	
START プロジェクト支援型	プロジェクト推進型	起業実証支援
START 事業プロモーター支援型		事業プロモーター支援
SCORE チーム推進型		ビジネスモデル検証支援
SBIRフェーズ1支援		SBIRフェーズ１支援
SCORE 大学推進型	大学・エコシステム推進型	大学推進型 (公募は2020年度のみ、2024年度終了)
SCORE 大学推進型 拠点都市環境整備型		拠点都市環境整備型 (2021年度終了)
スタートアップ・エコシステム形成支援		スタートアップ・エコシステム形成支援

START事業の目的

（１）大学等発スタートアップ創設による研究成果の社会実装

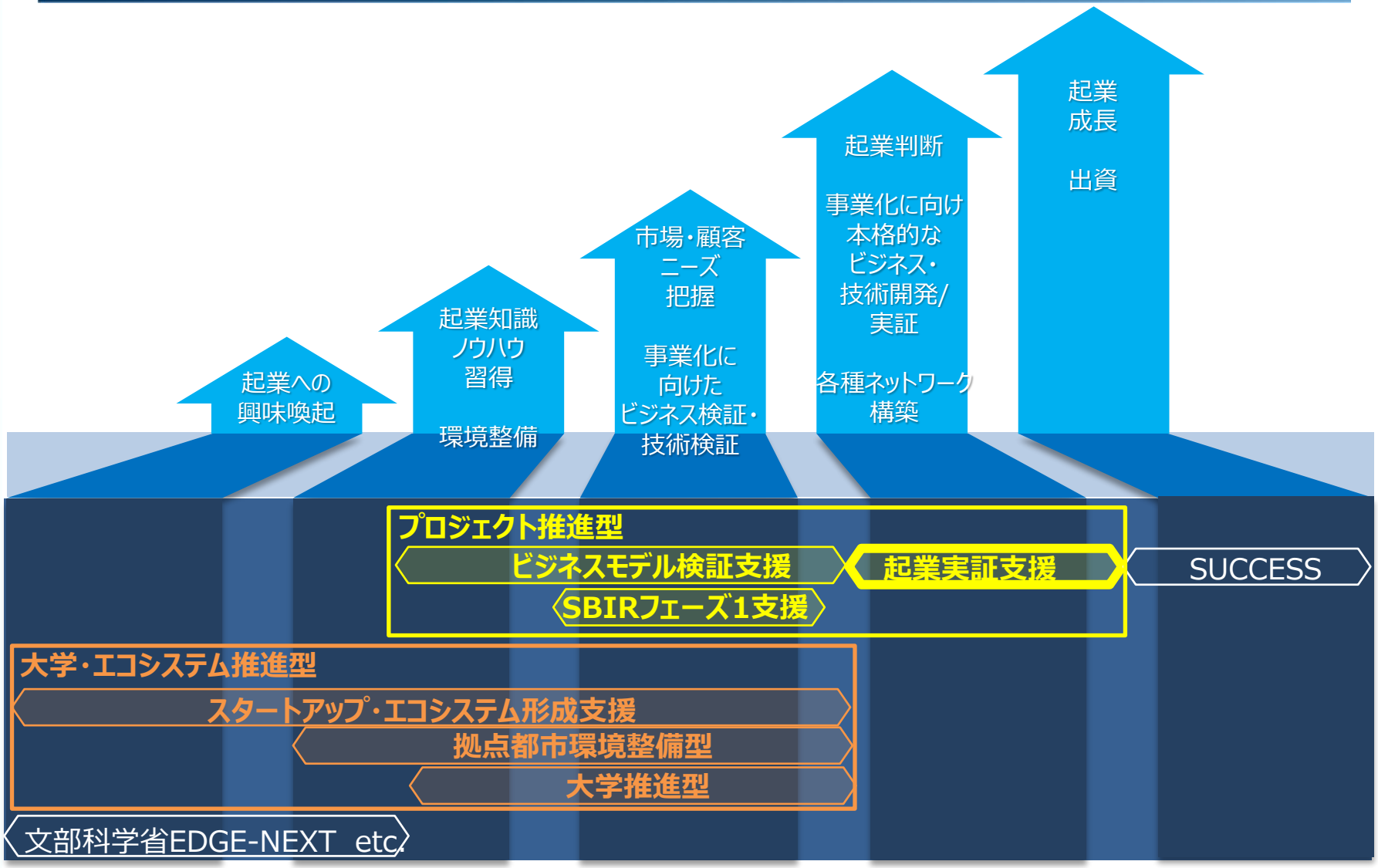


国の政策
支援強化

- **大学発新産業創出プログラム（ＳＴＡＲＴ）**　（2012年度から開始）
- オープンイノベーション共創会議　（大きな柱の一つに「大学発ベンチャー支援強化」）
- 未来投資戦略2017　（ベンチャーの自発的・連続的な創出を加速）
- 統合イノベーション戦略2020　（「STARTやSCORE等のより実践的な起業活動に対する支援強化」）
- 経済財政運営と改革の基本方針2021　（スタートアップの創出や産学官の共創によるイノベーション・エコシステムの全国的な形成を促進）

等

START事業の目的
（２）JST関連のスタートアップ支援事業の位置づけ



START事業の目的
（３）大学等発ベンチャーの困難のブレークスルーに向けて

大学発ベンチャーの壁

市場ニーズへの
マッチングの壁

事業化に必要な
ネットワークの壁

事業化を支援する
リスクマネーの壁

START事業での支援

① 事業育成やリスクマネー誘引に熟練した**事業プロモーターの活用**

② **ビジネスモデル検証**
（事業戦略、知財戦略）

③ 研究開発の**投資家視点**による
プロジェクトマネジメント

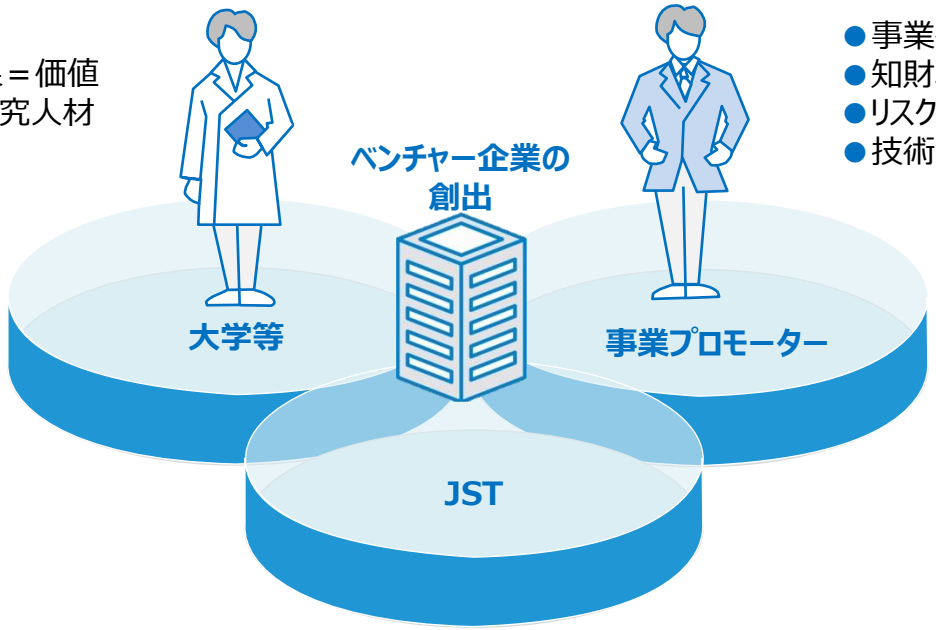
④ **事業化に向けた**研究開発と
事業育成を一体的支援

大学の革新的向けた技術シーズの事業化に向けた研究開発と、
事業化ノウハウをもった民間人材による事業育成を支援期間内で**一体的に実施**し、
事業戦略・知財戦略を構築し、成長ベンチャーの創出を目指す。

START事業のしくみ
大学発ベンチャー　エコシステム

産学官金が連携して持続的な大学等発日本型イノベーションモデルの構築を目指す。

- 既存企業ではリスクを負えないポテンシャルの高い技術シーズの事業化に挑戦する
- 大学等の革新的技術シーズを基にグローバル市場を目指す
- シード・アーリー段階にも民間資金を呼び込むことにより、基礎研究と事業化の間に存在する研究開発の死の谷を克服する
- 関係者が一定のコストを負担しつつ、コストに見合うメリットを得ることで持続的なシステムを構築する



- 研究成果＝価値
- 優秀な研究人材

- 事業化ノウハウ
- 知財戦略ノウハウ
- リスクマネー（投資）
- 技術人材・企業のネットワーク

- 技術と人材をつなぐ
- 研究開発／事業育成を支援

今回の公募概要

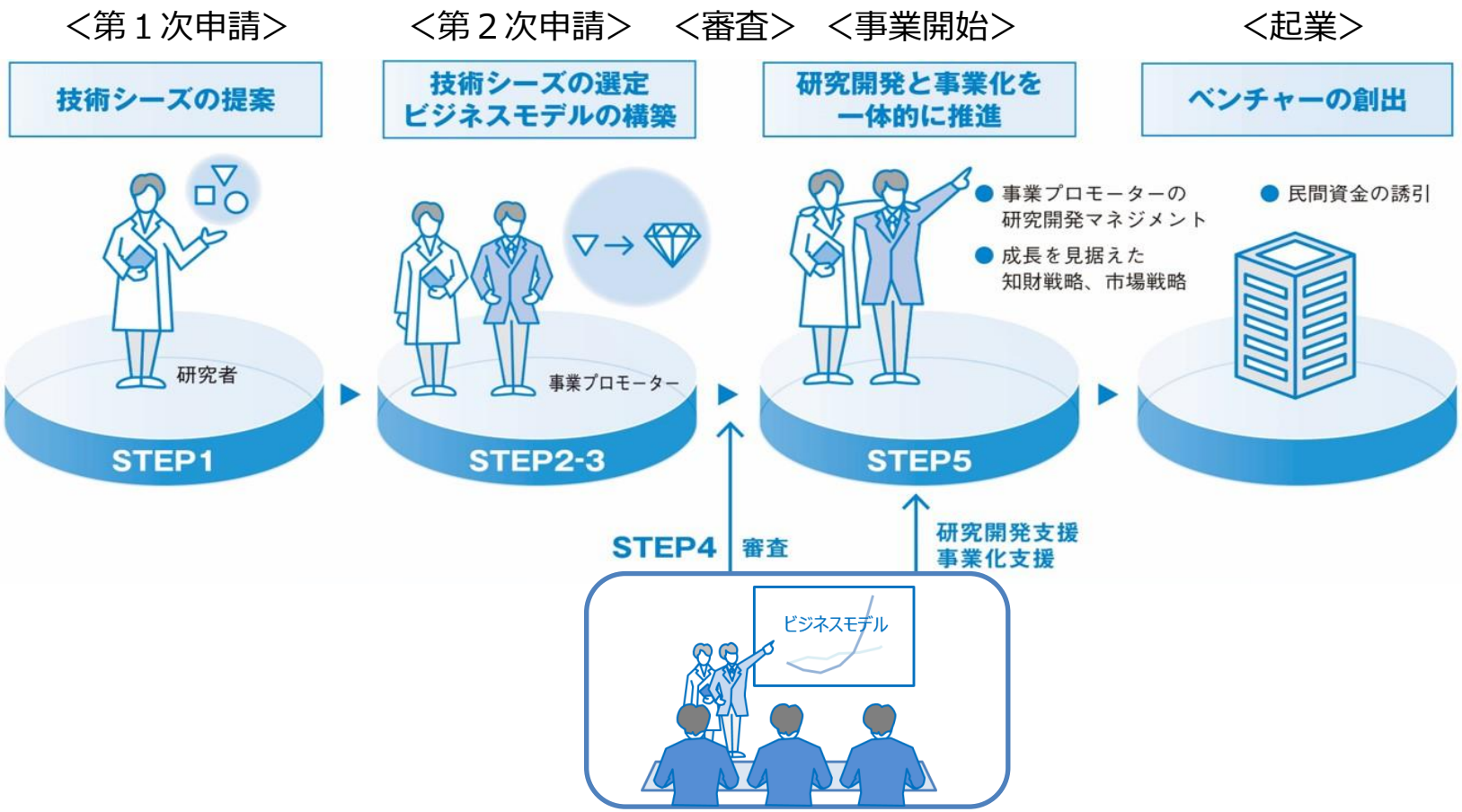
研究開発期間：2年半程度（最長）

・令和4年10・11月頃～令和7年3月末まで
・事業化までの期間の目途等を考慮し、研究開発終了日が令和7年3月より短い申請とすることも可能

研究開発費：2,700万円（直接経費、年間上限）
※間接経費は、直接経費の上限30%を別途措置

採択予定数: 6件程度

START事業のしくみ
申請～支援終了までの全体像



国費によるSTART事業で目指すのは **「企業価値の高い、成長ベンチャー（start-up）の設立」**
※ START支援は“通常の研究開発支援” や“一般的な会社設立助成”とは異なります。

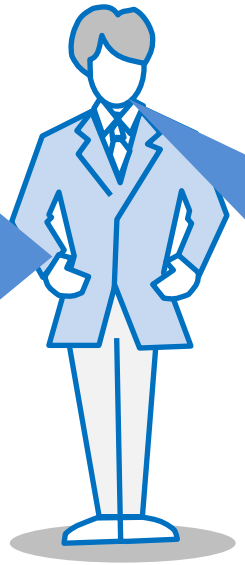
START事業のしくみ
第１次申請　（研究機関から事業プロモーターへの提案）

研究者

第１次申請

・技術シーズの内容、優位性
・想定している製品・サービス
・事業化に向けた研究開発計画
・研究開発体制　など

事業プロモーター



デューデリジェンス

・技術優位性、市場予測、知財状況
・技術完成度
・投資対象への育成可能性
・エビデンス
・対象分野　など

推薦決定

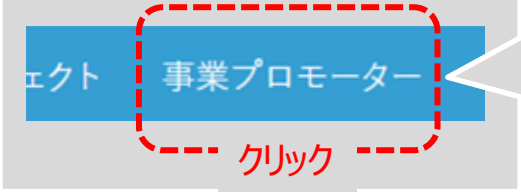
第２次申請の検討開始

第１次申請締切：
4月27日(水)　正午

事前に事業プロモーターユニットと合意が得られている場合は、第１次申請時に簡略化された第1次申請書様式を使用することができます。

2022年度　事業プロモーターユニット

https://www.jst.go.jp/start/index.html



- **第１次申請**（大学等から事業プロモーターへの技術シーズ提案）**で選択できる事業プロモーターユニットの一覧が掲載**
- **対象技術分野、事業育成戦略、実績、連絡先等の情報もあり**

2022年度　事業プロモーターユニット

㈱FFGベンチャービジネス
パートナーズ

ユニバーサル マテリアルズ
インキュベーター㈱

MedVenture Partners㈱

日本戦略投資㈱

Beyond Next Ventures㈱

㈱デフタ・キャピタル

㈱日本医療機器開発機構

ANRI株式会社

QBキャピタル合同会社

インキュベイトファンド株式会社

株式会社みらい創造機構

※2022年度新規事業プロモーターは
選考中です。

事業プロモーターは、日々技術シーズを探索しています。
また第2次申請のための検討時間も非常にかかります。
そのため、第1次申請前に、事業化方針等の相性確認も含め、事業プロモーターに連絡いただくことを推奨いたします。

START事業のしくみ
第２次申請　（研究機関と事業プロモーターからJSTに申請）

研究者　事業プロモーター

第2次申請

- 技術シーズの内容、優位性
- 事業化に向けた研究開発等の工程
- ビジネスモデル
- プロジェクト推進体制、予算計画
- リスクマネー調達計画
- 知財戦略、リスクマネジメント

など

START委員会

＜審査の観点＞
- 総合評価
- プロジェクト推進体制
- 技術シーズ
- 事業育成
- 民間資金調達計画
- 事業化に向けた研究開発プロセス
- 利益相反、プロジェクト予算計画

など

採択 → **プロジェクト開始**

第２次申請締切：

7月27日(水)　正午

スケジュール

予定　※変更可能性あり	
第１次申請　締切	4月27日(水) 正午
第２次申請　締切（※１）	7月27日(水)　正午
委員会ヒアリング審査（※２）	8~9月頃
プロジェクト開始	10~11月頃

※１：第２次申請は事業プロモーターの推薦を得た申請者のみ申請できます。
※２：ウェブ会議システム等を利用したリモート審査を予定しています。

https://www.jst.go.jp/start/support/r4/index.html

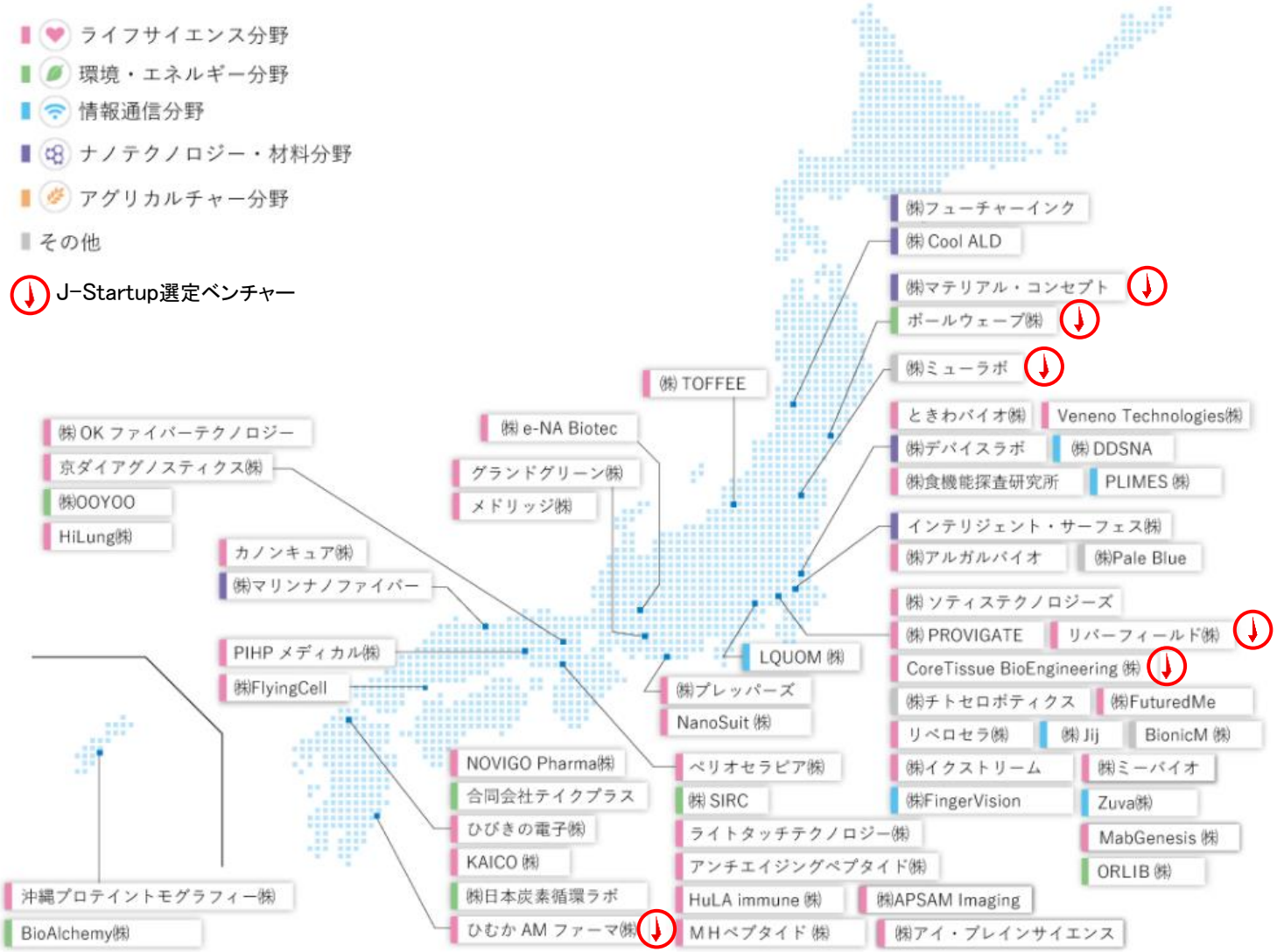
START実績

（１）旧 プロジェクト支援型　申請・推薦獲得・採択の実績

	① 第１次 申請数	② 第２次 申請数	③ 採択数	推薦率 （②÷①）	採択率 （③÷①）	活動 プロモーター ユニット数
2012年度	168	40	27	24%	16%	7
2013年度	208	34	16	16%	8%	11
2014年度	137	38	15	28%	11%	12
2015年度	115	32	12	28%	10%	12
2016年度	88	31	11	35%	13%	16
2017年度	94	35	13	37%	14%	13
2018年度	82	18	9	22%	11%	12
2019年度	74	19	10	26%	14%	13
2020年度	76	27	9	36%	12%	14
2020年度（補正）	15	8	3	53%	20%	14
2021年度	51	26	5	51%	10%	15
合計	1108	308	130	28%	12%	–

START実績
（２）START発ベンチャー

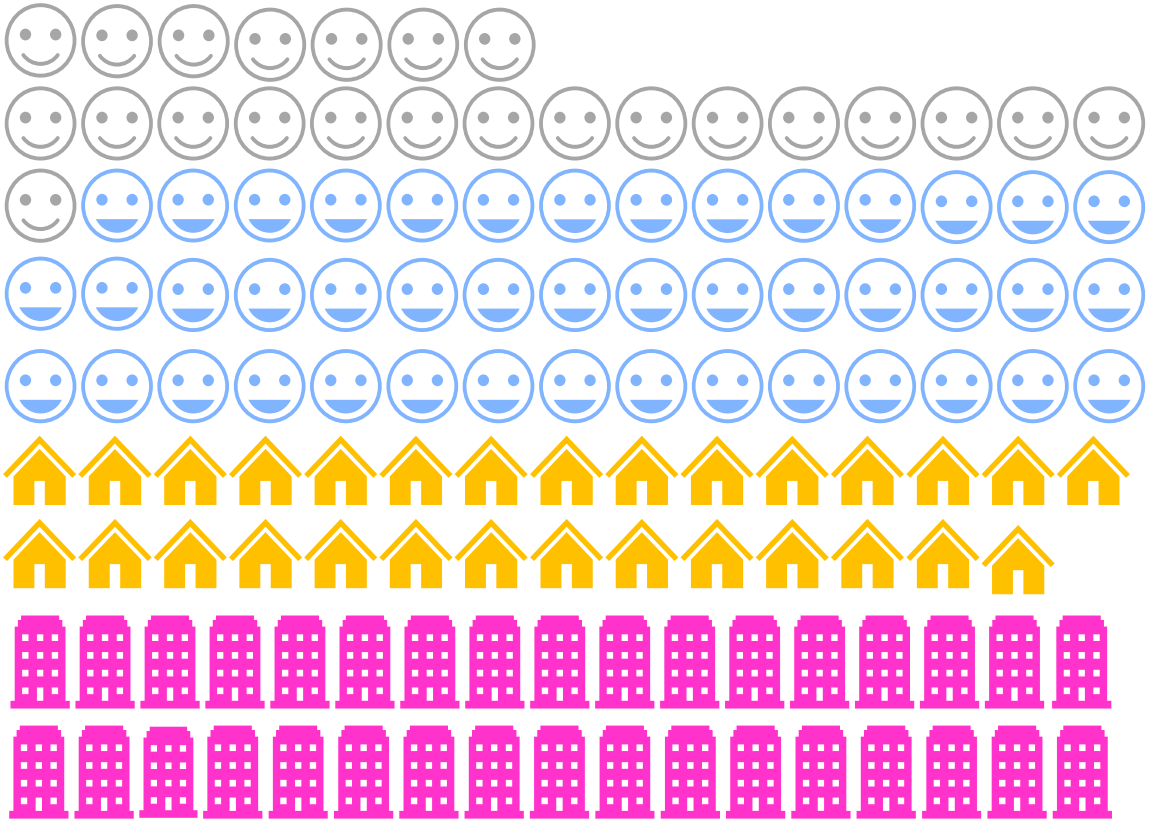
（ 下図は、2021.11月現在　63社）



START実績

（３）START発ベンチャーのアウトプット、アウトカム

2021.11.04更新



- **採択プロジェクト総数**（2012～2021年度） **130**PJ
- **終了プロジェクト総数**（2021年9月末日） **107**PJ
- **ベンチャー設立数**（2021年11月時点） **63**社
- **ステップアップ数**（出資1億円以上調達など） **34**社
- **売上発生社数**（2021年8月時点把握分） **33**社
- **雇用創出数**（2021年8月把握分） **410**名

【起業率】	【ステップアップ率】	【資金調達平均額】
59%	**54**%	約**3.9**億円
ベンチャー設立数（63社）／終了プロジェクト数（107PJ）	ステップアップ数（34社）／ベンチャー設立数（63社）	全社リスクマネー調達総額(247億円)／ベンチャー設立数（63社）

START実績
（４）START発ベンチャー事例（抜粋）

株式会社アイ・ブレインサイエンス
Founded 2019
大阪大学

世界初！「目の動き」を利用した ストレスのない認知機能検査法の開発
—アイ・トラッキング式認知機能評価法で、認知症診断に明るい未来を—

バイオ・サイト・キャピタル株式会社
代表事業プロモーター
株式会社アイ・ブレインサイエンス
非常勤取締役
谷 正之（事業プロモーター）

大阪大学・准教授
武田 朱公（研究代表者）

株式会社アイ・ブレインサイエンス
代表取締役社長
髙村 健太郎

BionicM株式会社
Founded 2018
東京大学

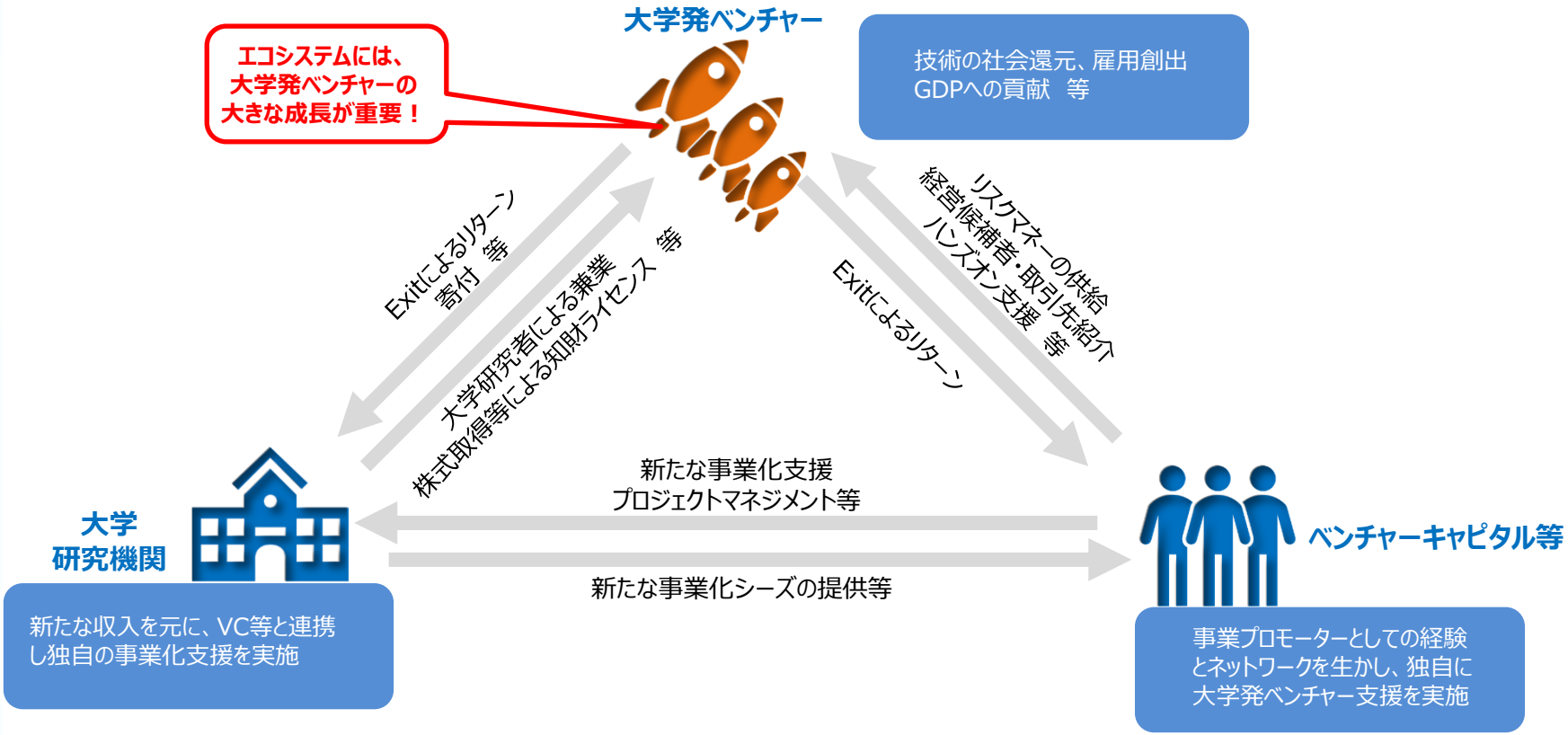
最先端のロボティクス技術を用いてユーザーの動きをアシストする「パワード義足」の事業化
—世界中の人々に、パワード義足で歩く感動を—

BionicM株式会社
代表取締役
孫 小軍

東京大学
大学院情報理工学系研究科 教授
稲葉 雅幸（研究代表者）

株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ
パートナー
BionicM株式会社 社外取締役
井出 啓介（事業プロモーター）

目指すエコシステム（支援終了後）



公募・問い合わせ先

〒102-0076
東京都千代田区五番町7　K’s五番町

国立研究開発法人　科学技術振興機構
産学連携展開部　START募集担当窓口

E-mail　：＜STARTに関するお問い合わせ＞
start-boshu@jst.go.jp

・JSTホームページ　：　http://www.jst.go.jp
・START・SCOREホームページ　：　http://www.jst.go.jp/start